

令和7年度事業報告

1. 公1 軟式野球大会開催事業

(7) 軟式野球大会開催事業

(1) 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、20大会を開催し無事終了した。

大会名	会期	開催支部	参加 チーム数	備考
天皇賜杯第80回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント	9月5日(金) ～10日(水)	秋田県	55	大阪府・大阪シティ信用金庫
高松宮賜杯第69回 全日本軟式野球大会	1部 9月20日(土) ～22日(月)	東京都	32	大阪府・エースファクトリーベースボールクラブ
	2部 9月13日(土) ～15日(月)	群馬県	32	東京都・D T S
高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月11日(月) ～18日(月)	新潟県	53	大阪府・長曽根ストロングス
文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOS トーナメント	3月21日(金) ～26日(水)	岡山県	56	石川県・星稜中学校
第10回全日本中学女子軟式野球大会 (SP トーナメント)	8月21日(木) ～27日(水)	京都府	49	栃木県・オール栃木
第42回全日本少年軟式野球大会 ENEOS トーナメント	8月10日(日) ～15日(金)	神奈川県	16	栃木県・作新学院中等部
第79回国民スポーツ大会 (わた SHIGA 輝く国スポ)	成年 男子 10月3日(金) ～7日(火)	滋賀県	32	東京都・株式会社スリーポンド
第47回 東日本軟式野球大会	1部 6月14日(土) ～16日(月)	福島県	28	北海道北・株式会社SWATT
	2部 5月17日(土) ～19日(月)	宮城県	28	埼玉県・吉岡クラブ
第47回 西日本軟式野球大会	1部 5月31日(土) ～6月2日(月)	京都府	26	福岡県・ジエムメディカル株式会社
	2部 7月5日(土) ～7日(月)	鳥取県	26	大阪府・ドミニク
水戸市長旗 第33回東日本軟式野球選手権大会	10月31日(金) ～11月4日(火)	茨城県	28	千葉県・AKIRA
第29回 西日本軟式野球選手権大会	10月31日(金) ～11月3日(月)	愛媛県	27	大阪府・株式会社ドウシヤ
第70回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月13日(木) ～16日(日)	愛知県	13	愛知県・医療法人和合病院
第8回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)	5月24日(土) ～27日(火)	埼玉県	50	大阪府・紫式部楽園
NPB ガールズトーナメント 2025	8月14日(木) ～20日(水)	岡山県	46	大阪府・大阪ベストガールズ
日本スポーツマスターズ 2025	9月19日(金) ～22日(月)	愛媛県	32	熊本県・NISSEKI ALLStars
第47回 全国中学校軟式野球大会	8月18日(月) ～22日(金)	佐賀県	25	東京都・駿台学園中学校
エンジョイ！軟式野球フェスティバル 2025	8月8日(金) ～11日(月)	三重県	16	A グループ 青森県・平川Jr.ベースボールクラブスポーツ少年団 B グループ 宮城県・大崎ジュニアドラゴンスポーツ少年団

国スポ総合成績（天皇杯得点）

1位	東京都	64点	5位	静岡県	32点
2位	富山県	56点	6位	奈良県	24点
3位	島根県	48点	7位	兵庫県	16点
4位	広島県	40点	8位	宮城県	8点

(2) 競技者登録システムは、47 支部がシステム稼働しており、天皇賜杯大会含む 9 大会の参加申込において競技者登録システムを利用した。

(3) 寄付金関係

公益目的事業実施のために 3 企業・2 団体・個人寄付者より寄付を受けた。

- ① ㈱ エスエスケイ
- ② (公財)日本高等学校野球連盟・毎日新聞社
- ③ (公財)日本高等学校野球連盟・朝日新聞社
- ④ 用具商工会
- ⑤ 個人 (2 名)

(4) 助成金関係

次の事業実施に際し、3 団体より助成金の交付を受けた。

- ① 少年野球振興事業助成 (ミズノスポーツ振興財団)
- ② スポーツ普及奨励助成事業費 (スポーツ安全協会)
- ③ R6 年度選手強化 N F 事業 (アジア選手権東西合宿) 交付金 (日本オリンピック委員会)
- ④ R7 年度選手強化事業交付金 (日本オリンピック委員会)

(5) 協賛金関係

次のとおり、2 団体、5 企業より協賛を受けた。

- ① 日本マクドナルド㈱より全日本学童大会の全国大会、支部大会の実施等に対し協賛を受けた。
- ② ENEOS㈱より天皇賜杯大会・全日本少年大会・全日本少年春季大会の全国大会に対し、協賛を受けた。
- ③ ㈱ドックラッセより、全日本シニア大会へ協賛を受けた。
- ④ 全国新聞社事業協議会より、全日本学童大会へ協賛を受けた。
- ⑤ 佐川印刷㈱より、全日本中学女子大会へ協賛を受けた。
- ⑥ (一社)日本野球機構より、NPB ガールズトーナメントおよび N P B 12 球団ジュニアトーナメントへの協力に対し、協賛を受けた。
- ⑦ ミズノ㈱より全軟連に協賛を受けた。

(6) 協賛金・助成金交付

次のとおり、協賛金・助成金を交付した。

- ① 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を交付。
- ② N P B ガールズトーナメント 2025 出場 46 チームに対し、助成金を交付。

- ③ 天皇賜杯大会及び全日本少年春季大会開催県の協賛協力金として ENEOS 協賛金を交付。
- ④ 中学女子大会出場 49 チームに対し、助成金を交付。
- ⑤ 9 ブロック及び 47 支部に対し、少年野球振興助成金を交付。

(7) ドーピング検査の実施

天皇賜杯第 80 回大会にてドーピング検査（8 検体）を実施し、全て陰性であった。

(イ) 審判員等養成事業

下表(1)、(2)、(3)、(4)事業を下記の通り、実施した。

(1) 全国審判技術研修員講習会

対象地区	日 程	場 所	受講者	修了者
全 国	2 月 22 日(土)～24 日(月)	埼玉県・伊奈町、大宮市	64 名	17 名

(2) 全国審判技術指導員研修会（ブロック別指導員）

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道・東北地区	3 月 1 日(土)、2 日(日)	宮城県・仙台市	22 名
関東地区	3 月 1 日(土)、2 日(日)	埼玉県・さいたま市	33 名
北信越・東海地区	3 月 1 日(土)、2 日(日)	愛知県・蒲郡市	37 名
近畿・四国地区	3 月 1 日(土)、2 日(日)	兵庫県・尼崎市	36 名
中国・九州地区	3 月 1 日(土)、2 日(日)	岡山県・倉敷市	39 名

(3) 審判ブロック講習会(ブロック別)

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道	5 月 17 日(土)～2 日間	北海道・岩見沢市	28 名
東北	3 月 7 日(金)～3 日間	福島県・福島市	31 名
関東	3 月 15 日(金)～3 日間	東京都・府中市	46 名
北信越	10 月 25 日(土)～2 日間	石川県・小松市	28 名
東海	11 月 23 日(土)～3 日間	三重県・津市	26 名
近畿	3 月 8 日(土)～2 日間	滋賀県・愛荘町	33 名
中国	3 月 14 日(金)～3 日間	山口県・岩国市	40 名
四国	10 月 18 日(土)～2 日間	高知県・高知市	20 名
九州	3 月 15 日(土)～2 日間	鹿児島県・鹿児島市	31 名

(4) 女性審判員研修会の実施

女性審判員の資質向上と審判組織の活性化のため、研修会を実施した。

対象地区	期 日	場 所	受講者
全 国	4 月 26 日(土) ～2 日間	志太スタジアム ホテルワイナリーヒル	27 名

(ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

(1) 競技者必携

支部その他に、53,044部を有償、無償で50部を頒布した。

(2) 公認野球規則

支部その他に、43,371部を有償、無償で40部を頒布した。

2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

(7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

(1) 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として下記9団体に交付した。

- ① 全日本大学軟式野球協会
- ② 公益財団法人日本高等学校野球連盟
- ③ 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- ④ 全日本ろう社会人野球連盟
- ⑤ 全国専門学校野球連盟
- ⑥ 全日本還暦野球連盟
- ⑦ アオダモ資源育成の会
- ⑧ 全国官公庁野球連盟
- ⑨ 全日本女子軟式野球連盟

(2) 各種全国大会等後援関係

軟式野球に関連した以下の27事業を後援した。

- ① 全国高等学校軟式野球選手権大会
- ② 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会
- ③ 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- ④ 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- ⑤ 全国専門学校軟式野球選手権大会
- ⑥ 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球大会
- ⑦ 全日本古希軟式野球大会
- ⑧ 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会 * 共催
- ⑨ 全日本大学女子野球選手権大会
- ⑩ 全国ガス野球大会
- ⑪ 全日本シニア軟式野球選手権大会
- ⑫ 実業団野球全国大会
- ⑬ 高野山旗全国学童軟式野球選手権大会
- ⑭ 全国青年大会

- ⑮ くりくり少年野球選手権大会
- ⑯ 全国少年少女野球教室
- ⑰ 全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆
- ⑱ 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- ⑲ 学童軟式野球全国大会ポップアスリートカップ
- ⑳ 全国 500 歳野球大会
- ㉑ 少年軟式野球世界大会
- ㉒ 全国中学生軟式野球大会
- ㉓ 阿波おどりカップ全国学童軟式野球大会
- ㉔ 世界少年野球大会
- ㉕ 全国小学生ティーボール選手権大会
- ㉖ 全国アマチュア野球指導者講習会
- ㉗ 全国高校軟式選手権大会 70 回記念 春の軟式交流試合 in 甲子園

(3) 全日本軟式野球連盟記録員養成講習会の実施

軟式野球大会の運営を各地において安定的に行うため、全日本軟式野球連盟記録マニュアルを活用した公式記録員養成講習会を実施した。

名 称	日 程	場 所	受講者
記録員養成講習会(北海道)	10月11日(土)～2日間	北海道・旭川市	11名
記録員養成講習会(関東ブロック)	10月25日(土)～2日間	茨城県・つくば市、牛久市	12名

(4) 全日本軟式野球連盟放送員養成講習会の実施

軟式野球大会の運営を各地において安定的に行うため、全日本軟式野球連盟放送マニュアルを活用した放送員養成講習会を実施した。

名 称	日 程	場 所	受講者
放送員養成講習会(北海道)	10月11日(土)～2日間	北海道・旭川市	16名
放送員養成講習会(関東ブロック)	10月25日(土)～2日間	茨城県・つくば市、牛久市	9名

(イ) スポーツ指導者養成事業

(1) 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成軟式野球専門科目講習会

前期を集合開催、後期をオンライン開催とし、無事に全日程終了した。受講者数は下表のとおり。

講 習	日 程	場 所	受講者
前 期	11月8日(土)～9日(日)	オンライン	58名
後 期	12月12日(金)～14日(日)	東京都・新宿区	55名

(2) 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

スポーツ振興センターのくじ助成事業として、小中学生の軟式野球指導者・選手保護者を主な対象に令和7年10月から令和8年1月の間に9ブロック10会場で実施した。

ブロック	日 程	場 所	受講者
北海道	令和7年10月26日(日)	砂川市立病院 2階多目的ホール	32名
九州	令和7年11月9日(日)	嘉手納ロータリープラザ中央公民館大ホール	74名
東海	令和7年12月21日(日)	島田市地域交流センター歩歩路	143名
中国	令和7年12月20日(土)	パルメイト出雲 4Fパルメイトホール	16名
岐阜県	令和7年12月21日(日)	大垣市情報工房 5F会議室	163名
東北	令和7年12月21日(日)	石巻市遊楽館 大会議室	34名
関東	令和8年1月17日(土)	東京体育館 第1会議室	19名
北信越	令和8年1月18日(日)	いしかわ総合スポーツセンター	118名
四国	令和8年1月24日(土)	むつみスイミング会議室	53名
近畿	令和8年1月31日(土)	大津市皇子山総合運動公園野球場 会議室	49名

(3) 競技者対象コンプライアンス研修会

コンプライアンス意識向上を図ることを目的として一般部最上位の層の競技者を対象にコンプライアンス研修会を実施した。

対象地区	日 程	場 所	受講者
全 国	1月31日(金)	東京都・新宿区	95名

(4) 助成金

- ① 日本スポーツ協会より、スポーツ指導者養成事業交付金(R6年度分)の助成を受けた。
- ② 日本スポーツ振興センターより、スポーツ振興くじ助成金(R6年度成長期のスポーツ障害予防指導者講習会)の助成を受けた。
- ③ 全日本野球協会より、公認野球指導者育成奨励助成金(令和6年度分)を受けた。

(ウ) 広報活動事業

(1) 連盟ホームページの活用

連盟公式ホームページの活用として、例年行っている動画配信の対象大会を拡大し、全日本学童大会及びNPBガールズトーナメントでは全試合、天皇賜杯大会、高松宮賜杯1部・2部、シニア大会、中学女子大会では、準決勝と決勝戦にて実施し、より広報を充実させた。

(2) 広報誌の発行

連盟広報誌「全軟連 News」第6号を発刊した。内容は、巻頭インタビューとして元広島東洋カープで出雲市信用組合出身の大野豊氏のインタビュー記事を掲載。また、特集ページでは「全国高校軟式野球選手権大会70回記念 春の軟式交流試合 in 甲子園」を中心に高校軟式野球について触れた他、各支部の特色を紹介するページとして青森県支部の紹介や近畿ブロック内3チームの紹介、こ

ども野球継続支援事業で開催したイベント事業等について掲載した。広報誌は連盟関係先へ配布したほか、誰でも閲覧できるようバックナンバーとともに連盟ホームページに公開した。

また、学童部、少年部向け広報誌「CATCH BALL」をベネッセ・コーポレーションとクロススポーツマーケティングの協賛を得てそれぞれ発刊し、各都道府県支部ならびに中体連の協力のもと、全軟連登録の学童、少年チームへ配布を行った。

(3) Facebook、Instagram、X、YouTube による情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HP による発信を補完する形で、Facebook、Instagram に加え、新たに開設した X アカウントおよび全軟連公式 YouTube チャンネルを通じて情報発信を行った。

(エ) こども野球継続支援事業

野球と接点のない未就学児を含む小学校低学年年齢層の子供を対象に、商業施設のイベントスペースや行政が主催するスポーツイベント会場において野球体験イベントを開催した。野球の基本となる「投げる」「打つ」「捕る」「走る」の一連の動きを遊びながら取り入れることで延べ 2,331 名の子供たちが野球体験を楽しんだ。また、同様のイベント事業を実施する各支部等へ開催費用の助成事業を実施し、5 支部への助成を行った。今後は、学童・少年部の主に施設入所者を対象とした、用具購入などの初期費用及び競技を継続する環境を整えるための支援事業についても実施準備をしていきたい。

3. 収 1 野球用具検定事業

公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として 37 支部へ助成金を交付した。

4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の 1 階、2 階、5 階スペース、及び駐車スペース 3 台分を賃貸。

軟式野球会館の外ガラス及び外階段、エントランススタイルの清掃、及びエレベーターリニューアル工事を実施した。

5. 収 3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、令和 7 年より仕様変更となった審判ワッペン等の制定物品を販売した。

6. その他連盟が推進する事業・活動

(1) 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より 15 名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。

令和 7 年 12 月末までの復帰者総計 657 名。(40 歳以上も含む)

承認 No.	支部	氏名	最終所属球団
644	沖縄	福地 元春	横浜 DeNA ベイスターズ
645	愛知	若松 駿太	中日ドラゴンズ
646	愛知	三ツ俣 大樹	東京ヤクルトスワローズ
647	千葉	吉田 凌	千葉ロッテマリーンズ
648	宮崎	平野 大和	オリックスバファローズ
649	愛知	砂田 毅樹	中日ドラゴンズ
650	大阪	浅井 良	阪神タイガース
651	北海道	福田 光輝	北海道日本ハムファイターズ
652	北海道	牧谷 宇佐美	北海道日本ハムファイターズ
653	新潟	鈴木 裕太	東京ヤクルトスワローズ
654	神奈川	宮本 秀明	横浜 DeNA ベイスターズ
655	愛知	中尾 輝	東京ヤクルトスワローズ
656	大阪	石川 雄洋	横浜 DeNA ベイスターズ
657	大阪	萬谷 康平	横浜 DeNA ベイスターズ
658	愛知	星野 真生	中日ドラゴンズ

(2) 表彰関係

① 表彰委員会規程による表彰

令和 7 年度の功労者 (15 名) の皆様を表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	赤田 敏美 (北海道)
東北	2	曾川 利和 (山形) ・ 小坂井 孝博 (福島)
関東	2	小泉 喜作 (千葉) ・ 横溝 直樹 (埼玉)
北信越	2	伊藤 達実 (福井) ・ 宮地 治 (石川)
東海	2	杉本 勝利 (三重) ・ 吉見 則行 (愛知)
近畿	2	中本 博 (京都) ・ 勝山 充員 (奈良)
中国	1	鶴田 政信 (山口)
四国	1	植田 新作 (高知)
九州	2	染矢 儀博 (宮崎) ・ 那須 良介 (熊本)
計	15	

② 読売新聞社主催 令和 7 年度第 74 回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 大阪シティ信用金庫(大阪府)

(3) 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部ならびに一般の方々からの協力により集まった野球用具を外務省スポーツ外交推進事業（器材供与）によりブータン及びニカラグアに寄贈を行った。その他、中国、フィリピン、ブラジル、グアテマラに対し、JICA 隊員等を通じた用具寄贈を行った。

アジア諸国を中心に世界の野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に、引き続き野球途上国へ用具支援を行っていくこととする。